

# 雨よけ初夏どりきゅうりの品種と品質について

## 1 試験のねらい

本県の初夏どりきゅうりの作付面積は約600haあるが、露地栽培が中心であるため気象災害や病害虫等により生産はとかく不安定である。最近ハウスの利用による雨よけ栽培やトンネル栽培が積極的に推進されており、作期の前進と収穫期間の長期化に伴う適品種の導入並びに品質の維持等が問題となっている。このことについて昭和55年から58年まで検討したので概要を報告する。

## 2 試験方法

55年と56年は適応するとみられる品種について諸特性を調査し、57年と58年は主要品種を用いては種時期と品質の推移や収量について調査した。

表-1 作期と供試条件

年次	は種期	植付期	品種数	収穫期間		備 考
				始	終	
昭.55	4月12日	5月17日	20	6月4日	7月31日	○55~57年はビニールハウス, 58
56	2月12日	3月24日	17	4月25日	7月1日	年はガラス室使用。
57	3月5・25日 4月15日	4月5・24日 5月10日	5	5月8日	7月16日	○台木は新土佐1号, 主枝1本直 立仕立て, 180~200cmで摘心。
58	3月10日	4月11日	5	5月13日	8月10日	○1区10株の2区制。

不整形果の調査はいずれも指数で4段階とし、曲がり果は0(曲がりの程度1cm以内), 1.(1~3cm), 2.(3~5cm), 3.(5cm以上)に類別した。なお形状の発現は単一に限らずそれぞれ重複して調査した。果色は緑3~濃緑6, 光沢は普3~強良6, ブルームは微1~中5とし、品質は総合値で良80~極良90以上を基準とした。

## 3 試験結果及び考察

55年は露地栽培とのからみで4月中旬まきで検討したところ、良果率は80~86%で品質は優れ多収が得られたが、全般に尻太り果の発生が多かった(19~31%)。56年は前進化をねらって2月中旬まきで検討した結果、尻細り果が多発(21~34%)したが尻太り果や短形果は少なく良果率は78~85%であった。兩年を通じて王金女神2号が良質最多収で有望とみられた。

57年は5品種を用いて3は種期で7月中旬まで調査した。中, 晩まきの成績は省略したが、早まきでは尻細り果, 晩まきでは尻太り果の発生が多く, これらの発生転換期が6月中旬にみられ, 前2か年の結果と符合した。果色と光沢は各は種期とも収穫盛時が最もすぐれ, 品種差は少

なく、その相関は晩まきほどしかも前半で高い傾向であった。またブルームは各は種期とも6月中旬以降で多くみられ、収穫末期で目立ち、品種差は初期が大であった。58年も5品種を用い、早まきで収穫期間を8月中旬まで延長して、前年の結果を再確認した。全般に尻細り果が多かったが、後半は尻太り果が目立ちしかも品種差があった。品質は収穫末期の7月中旬以降であってもおとろえは少なく全体を通してすぐれており、良果率は5品種平均84±3%であり、特に王金女神2号は高率で88±2%を示した。

これらのことから、早まき(3月中旬以前)では尻細り果、晩まき(4月中旬)では尻太り果の発生が少なく果形の安定した品種がよく、また作期の前進と収穫期間の長期化に適した品種として、王金女神2号が最も有望と思われる。この品種は冬春どり(半促成栽培)向けとして既に推奨されている。

#### 4 成果の要約

3月中旬以前の早まきでは収穫前半に尻細り果が多く、4月中旬頃の晩まきでは尻太り果の発生が多くなる傾向がある。しかし雨よけ栽培によると果色光沢がすぐれ良果率は高く品質は良好であり、早まきによる長期栽培が可能であった。品質収量面から最も安定性がみられた品種は王金女神2号であり有望と思われる。

(担当者 佐野分場 塩谷民一)

表一 2 主要品種の年次別収量品質

年度	種 収獲終	品 種	主 着果節	側枝 数	収穫始 月・日	果数(10株)		良果		不整形果 %				果色	光沢	ブルーム	品質
						主枝	側枝	%	曲り	尻細	尻太	肩おち	短形				
昭 55	4/12 7/31	王金女神2号	110	115	6.7	133	213	84	27	—	26	12	2	44	5.1	3.4	77
		" 促成	65	143	.6	75	177	84	33	0	24	9	2	40	4.6	3.8	75
		ときわ光3号P	74	92	.5	106	141	80	36	—	31	9	3	3.0	4.0	3.9	71
		" 光促成	81	102	.5	105	162	83	31	0	21	12	2	3.9	4.9	3.8	74
56	2/12 7/1	緑光2号	108	96	.4	121	161	86	27	0	19	10	7	3.5	3.9	3.9	72
		王金女神2号	143	151	425	187	215	84	37	21	2	35	1	5.6	5.6	1.7	98
		" 促成	88	116	.30	81	169	83	35	22	2	34	5	5.6	5.5	1.7	96
		ときわ光3号P	119	109	.29	129	160	78	41	34	1	22	6	5.5	5.5	2.3	89
57	7/1 7/7	" 光促成	135	109	.26	132	152	80	44	32	1	35	3	5.6	5.5	2.1	96
		秀峰	112	163	.28	135	225	85	37	27	1	32	3	5.5	5.5	1.8	98
		王金女神2号	122	96	5.8	160	166	87	30	16	13	24	3	4.4	4.4	2.3	89
		" 促成	48	105	.11	54	185	82	38	17	17	16	3	4.4	4.3	3.2	87
58	3/10 8/10	ときわ光3号P	9.1	8.8	.9	94	167	79	38	19	14	9	5	4.3	4.2	3.3	86
		" 光促成	8.3	10.2	.9	104	213	83	35	16	12	21	4	4.4	4.4	2.8	90
		秀峰	9.7	10.9	.9	121	206	85	50	19	12	17	1	4.6	4.6	3.0	91
		王金女神2号	105	169	5.14	175	514	88	30	20	5	15	6	4.8	5.5	2.3	92
58	8/10	秀峰	6.4	16.1	.15	95	458	83	37	23	8	12	7	4.9	5.8	3.4	90
		ときわ光3号P	7.5	16.8	.16	115	389	79	42	28	11	6	13	4.1	4.6	3.3	86
		" 光促成	8.1	15.5	.15	110	378	85	33	20	8	12	8	4.7	5.5	3.4	90
		夏秋の光	6.7	14.8	.14	106	395	84	34	19	11	12	11	5.1	5.6	2.5	90

注1. 曲り果は曲りの程度3cm以上、尻細り果と尻太り果は中程度以上、ほかは全果数率。

2. 良果は屑果を除いた果数率。